



# 2018 年度事業報告書

(2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日)

2019 年 5 月

いちかわ電力合同会社  
NPO 法人いちかわ電力コミュニテイ

## 1. いかわ電力について

### (1) 「いかわ電力」の目的

気候変動の防止に寄与し、地域の活性化と住民の安全と福利、子どもたちの健全な未来の実現に向けて、千葉県市川市及び周辺地域において、持続可能な再生可能エネルギーを最大限に普及させるために必要な活動を行います。

### (2) 活動推進体制

二つの法人が役割分担をして進めます。「いかわ電力合同会社」は、再生可能エネルギー事業の透明性の確保の為に発電事業に特化した会社で、「NPO 法人いかわ電力コミュニティ」が再生可能エネルギー事業の推進に向けた普及啓発、情報発信等を行います。

## 2. 第一号発電所について

### (1) 発電所の概要

第一号発電所は、社会福祉法人一粒会様が運営する「児童発達支援事業所『結』」と「児童自立援助ホーム『坂梨ホーム』」が一体となった施設（以下、同施設）のカーポートに 5.4kw の太陽光発電設備を設置し、2018年5月18日から稼働しました。同施設は、設備賃貸料を弊社に支払い、発電した電気を自家消費します。余剰電気は東京電力に売電し、売電収入を弊社が収受します。自家消費による電気代削減を実現し、同施設の活動を支援します。



## (2) 施設名称

『いちかわ電力 第一号発電所 つなぐ つながる発電所』

「さかなしホーム」のお子さんたちが、「結」の意味合いを活かした素敵な名称を相談して考えていただきました。

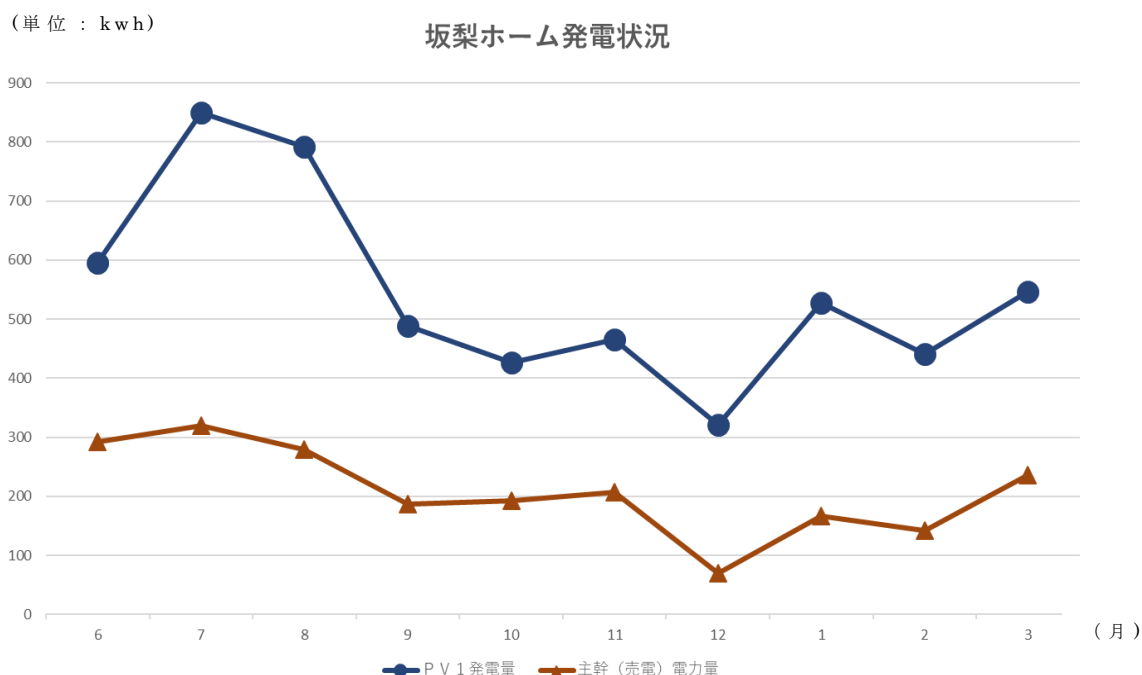
2018年11月25日には、お披露目イベントとして視察会を開催し、同施設の活動も合わせてPRしました。



## (3) 発電状況

概ね当初計画通り発電し、2018年6月から2019年3月までの発電量の合計は5,525kwh、売電量は2,125kwhとなりました。同施設の消費電力量に対して、夏季で約40%強、冬季で約30%弱を太陽光

発電で賄うことができました。



#### < 社会福祉法人一粒会様のご紹介 >

一粒会様からお言葉をいただきました。

\*\*\*\*\*

私どもは、木更津に本部を置く社会福祉法人です。当法人では虐待など様々な理由で親と暮らせない子どもたちを保護し、2番目の家として子どもたちを養育する児童養護施設「野の花の家」や、主にDV被害を受けた母子を保護する母子生活支援施設「FAH こすもす」、在日外国人の家族の相談にも対応できる児童家庭支援センター「ヴィオラ」などを運営しております。

児童発達支援事業所「結」では、就学前の発達の遅れのあるお子様たちの通所施設です。季節を感じながら、五感に働きかけ一人ひとりに寄り添った療育を行っています。

児童自立援助ホーム「坂梨ホーム」は、義務教育を終えたばかりなのに自立をせざるを得なくなった青年が自立の準備をする暮らしの場です。

いちかわ電力さんのご支援をいただき、人と人がつながり、社会とつながり、心温まる出会いをさせて頂いております。どのような環境に生まれても、全ての人が幸せを感じながら、社会の一員として暮らしていけるよう活動してまいります。

\*\*\*\*\*

### 3. 第二号発電所について

#### (1) 発電所の概要

第二号発電所は、栃木県壬生町の山林を整備したエリアに 25.7kw の野立の設備を設置し、全量売電により投資資金を回収します。2018 年秋から工事を開始し、2019 年 4 月 8 日に稼働を開始しました。

所在地：栃木県壬生町藤井字大御堂 2379

面積：507 m<sup>2</sup>

#### (2) 施設名称

『いちかわ電力 第二号発電所 よつば ひろがる発電所』

今後、太陽光パネル周辺に雑草対策としてクローバーを植えていきます。クローバーが広がるこの発電所で作られるクリーンな電気を通じて、多くの人たちに幸せが広がりますように、という思いを込めています。



#### 4. 地球環境への貢献

(1) 発電量を二酸化炭素削減量に換算すると・・・3,077kg-CO<sub>2</sub>/年

計算式：二酸化炭素削減量[kg-CO<sub>2</sub>]=年間発電量 KWh×0.561kg-CO<sub>2</sub>/KWh

出典：太陽光発電協会 表示ガイドライン（平成 30 年度）

(2) 発電量を石油削減効果に換算すると・・・1,245ℓ-CO<sub>2</sub>/年（ポリタンク 69 本分）

計算式：石油削減効果[ℓ-CO<sub>2</sub>]=年間発電量 KWh×0.227ℓ/KWh

出典：太陽光発電協会 表示ガイドライン（平成 30 年度）

(3) 二酸化炭素削減量を同じ量の二酸化炭素を光合成する日本の森林面積に換算すると・・・0.86ha

計算式：森林換算面積[ha]=二酸化炭素削減量 t-CO<sub>2</sub>÷年間森林吸収量 3.57t-CO<sub>2</sub>/ha

出典：NEDO2000 年太陽光発電導入ガイドブック

5. 2018年度（第二期）の決算状況

(1)貸借対照表

貸借対照表

平成31年03月31日 現在

いちかわ電力合同会社

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	982,144	【流動負債】	66,885
現金及び預金	823,575	未払費用	1,022
未収消費税	158,569	預り金	5,863
【固定資産】	9,349,457	未払法人税等	60,000
有形固定資産	9,349,457	【固定負債】	10,500,000
機械装置	2,120,000	社債	10,500,000
土地	880,300	負債の部合計	10,566,885
減価償却累計額	△125,080	純資産の部	
建設仮勘定	6,474,237	科目	金額
		【株主資本】	△235,284
		資本金	100,000
		利益剰余金	△335,284
		その他利益剰余金	△335,284
		繰越利益剰余金	△335,284
		(うち当期純損失)	△112,617
		純資産の部合計	△235,284
資産の部合計	10,331,601	負債・純資産の部合計	10,331,601

資産の部は、一号発電所の機械装置 2,120 千円のほか、二号発電所の工事代金で建設仮勘定 6,474 千円を計上するなど合計で 10,331 千円となりました。負債の部は、社債 10,500 千円など合計で 10,566 千円となりました。純資産の部は、当期純損失により △235 千円となりました。

(2) 損益計算書

損益計算書

自 平成30年04月01日

至 平成31年03月31日

いちかわ電力合同会社

(単位：円)

科目	金額	
【売上高】		
売上高	190,736	190,736
【売上原価】		
売上総利益		190,736
【販売費及び一般管理費】		204,074
営業損失		△ 13,338
【営業外収益】		
雑収入	36	36
【営業外費用】		
支払利息	29,315	29,315
経常損失		△ 42,617
【特別利益】		
【特別損失】		
税引前当期純損失		△ 42,617
法人税等		70,000
当期純損失		△ 112,617

売上高は、設備賃貸料と売電収入により 190 千円となりました。販売費及び一般管理費は、減価償却費などで 204 千円となったことから営業損失 13 千円となり、法人税等を差し引いた当期純損失は 112 千円となりました。



(3) 販売費及び一般管理費内訳書

販売費及び一般管理費内訳書

自 平成30年04月01日

至 平成31年03月31日

いちかわ電力合同会社

(単位：円)

科目	金額	
【販売費及び一般管理費】		
通信費	1,438	
租税公課	1,000	
支払手数料	51,400	
寄付金	25,000	
減価償却費	125,080	
雑費	156	
販売費及び一般管理費合計		204,074

損益計算書の販売費及び一般管理費の内訳ですが、主なものは一号発電所の減価償却費 125 千円で、全体では 204 千円となりました。

(4) 株主資本等変動計算書

株主資本等変動計算書

自 平成30年04月01日

至 平成31年03月31日

いちかわ電力合同会社

(単位：円)

株主資本

資本金	当期首残高		100,000
	当期変動額		0
	当期末残高		100,000

利益剰余金

その他利益剰余金

繰越利益剰余金	当期首残高		-222,667
	当期変動額	当期純利益	-112,617
	当期末残高		-335,284

株主資本合計

	当期首残高		-122,667
	当期変動額		-112,617
	当期末残高		-235,284

純資産の部合計

	当期首残高		-122,667
	当期変動額		-112,617
	当期末残高		-235,284

出資者の方の持ち分に関する当期の動きを示すものが株主資本等  
変動計算書です。当期首残高△122千円に対して、期中の変動として  
△112千円の当期純損失が加わり、当期末の純資産残高は△235千円  
となりました。

以上